

土砂災害関連技術講習会を開催しました

令和2年11月18日（水）、秋田市パーティギャラリーイヤタカにおいて技術講習会を開催しました。

今年は新型コロナウイルス感染症予防のため、広い会場の利用、入室時の検温、手の消毒、講習会場内はマスクを着用するという対策を講じて実施しました。

参加者は県土木技術職員、ボランティア協会員及び賛助企業会員の技術者61名でした。

今回の講師は、気象庁秋田地方気象台気象情報官野口利世様より『防災気象情報とその利活用』について講演をいただきました。地球規模の気温上昇により台風の大型化や年間降水量が増加していること、気象台が発表する防災気象情報の入手方法や、避難のタイミングをつかむための情報等について実例を紹介しながら講義をいただきました。

また、秋田県建設部河川砂防課流域防災監村上龍巳様からは『砂防事業における県の課題と対応』について講演をいただきました。秋田県の土砂災害危険箇所の現状と課題、ハード事業の進め方、砂防関係施設の長寿命化計画の取り組み、火山噴火緊急減災の取り組み及び土砂災害警戒情報発表基準の見直しについて講義していただきました。



秋元理事長あいさつ



野口気象情報官



村上龍巳流域防災監



聴講状況



新型コロナウイルス感染症対策の受付